

千葉県立病院群臨床研修プログラム

1 研修管理委員会

管理型病院に千葉県臨床研修管理委員会をおく

1) 構成

千葉県臨床研修管理委員会は委員長（管理型病院院長）、副委員長ほか以下7名のプログラム責任者、事務局長、協力施設の長、指導医チーム責任者、等で構成する。

2) 役割

○ 研修プログラムの全体的な管理

- * 研修プログラムの作成
- * 病院、診療科の枠を越えてカリキュラムが円滑に施行されるよう調整をする
- * 研修プログラムの評価、見直し

○ 研修医の全体的な管理

- * 研修医の人事
- * 研修医の処遇
- * 研修医の健康管理
- * 研修医の評価
- * 研修修了証書の付与

2 プログラム責任者

(1) 役割

○研修プログラムの作成管理を行う

○研修プログラムにもとずき研修医を管理する

以下の7名で構成する

外科プログラム責任者、内科プログラム責任者、小児科プログラム責任者、
救急プログラム責任者、精神科プログラム責任者、リハビリテーションプログラム責任
者、保険介護地域医療プログラム責任者

3 指導医

その研修医をプログラムにもとずき直接責任を持って指導する。

以下の、指導医チーム責任者、担任指導医、指導医をおく

○ 指導医チーム責任者：12～14名の研修医と担任指導医の責任者であり、プログラム指導者と協議をしつつ円滑な指導を統括する。

○ 担任指導医：2年間通じて研修医を指導する医師

○ 指導医：研修医の研修病院における当該科目の指導をする医師。

研修医の最初の指導医が担任指導医となる

4 研修方法

(1) 定員

千葉県立病院群では52名を定員とし、臨床研修医は12-14名を1チームとして、チーム責任者と担任指導医から責任者から2年間通じて指導をうける

(2) 研修病院：研修科目の研修は当該科目指導医の所属する病院で行うが、指導医チーム責任者と協議の上幅広い疾患を経験するため、いくつかの病院をまたがった研修も可能である。

(3) 担任指導医数 (52名)：

内科(14)：がんセンター 4

循環器 4

東金 2

佐原 2

リハセンター 2

外科 (14)：がんセンター 6

循環器 2

救急 2

東金 2

佐原 2

小児科(12) こども病院 8

循環器 2

東金 1

佐原 1

救急(12) 救急医療センター 6

循環器 2

佐原 2

東金 2

*各病院別担任指導医数 (52名)

がんセンター 10

循環器 10

こども 8

救急 8

東金 7

佐原 7

リハビリ 2

(4) カリキュラム

4月 オリエンテーション：1カ月間 ；がんセンターで行う。

- * 必須研修は、内科、外科、小児科、救急、精神科、リハビリ、保険介護在宅医療とする。
各科3月を原則とするが精神科、リハビリ、保険介護在宅医療は各1カ月毎とする
- * 最初の研修科目は担任指導者からの直接指導を受ける
- * 各研修科目終了時に研修の評価と、指導者の相互評価を、指導医チーム責任者、担任指導医、指導医で行う。
- * 基本研修終了後に全体的評価をチーム毎に行い、不十分な研修は再度の研修を行うこととする。

* 研修ローテーション

オリエンテーション終了後以下のごとくローテーションを行う。研修は指導医の所属する病院で行うが、チーム責任者と協議の上幅広い疾患を経験するため、いくつかの病院をまたがっての研修も可能である。

	初年	5月—7月	8-10月	11—1月、	2—4月、	2年目	5—7月、	8—3月
A チーム (14名)	内科	精神科	外科	救急医療	小児科	選択研修		
		リハビリ介護						
B チーム (14名)	外科	救急	精神科	小児科	内科	選択研修		
			リハビリ、介護					
C チーム (12名)	小児科	内科	救急	精神科	外科	選択研修		
				リハビリ、介護				
D チーム (12名)	救急	小児科	内科	外科	精神科	選択研修		
					リハビリ、介護			

A、Bチーム(14名) 担当指導医所属病院

内科：がんセンター 4、循環器 4、東金 2、佐原 2、リハセンター 2

外科：がんセンター 6、循環器 2、救急 2、東金 2、佐原 2

小児科 こども病院 8、循環器 2、東金2 (C、D1)、佐原 2 (C、D1)

救急 救急医療センター 8、循環器 2、佐原2、東金 2

精神科；精神科医療センター 4

リハビリ：リハビリセンター4

保険介護緩和医療：がんセンター2、佐原 1、東金1

保健所
地域医療